

# わらびてし

128号



## 主な内容

平成24年度の市町村教育  
委員会が行った調査

復興にむけ全力で調査  
(今年度の岩手県文化振興  
事業団の調査計画)

全国から復興調査を支援  
人事動向

## 船越湾を一望する田の浜館跡 (下閉伊郡山田町)

遺跡の尾根頂部付近からは、眼下の船越湾が一望され、南の大槌町浪板海岸から吉里吉里まで見渡すことができます。このような好立地にある本遺跡は、古くから城館跡として知られていました。

今回の調査は、山田町の防災集団移転促進事業(田の浜地区)及び町道船越田の浜線建設に伴って行われています。現在城館遺構のほか、縄文時代中期末の竪穴住居跡や古代の製鉄遺構が確認されています。被災された方々の住宅再建が早期に行われるよう、スピード感を持って調査を進めています。

(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 北田 勲

# 復興関連調査や史跡調査など

## 平成24年度に市町村等が行った県内発掘調査

平成24年度に市町村教育委員会が実施した発掘調査は右の表のとおりです。多くは住宅建築や道路建設に関連した事前調査です。これらの調査の中には、東日本大震災からの復興に関する集団移転地に係る調査も含まれています。また、史跡指定を目的とした調査あるいは保存された史跡の環境整備や内容確認の調査も含まれています。

### 縄文時代

一戸町の国指定史跡御所野遺跡では、盛土遺構と配石遺構群の内容確認調査が実施されました。陸前高田市の堂の前貝塚では、縄文時代の包含層から土器、石器など大量の遺物が出土しました。宮古市では、集団移転の復興事業に伴う発掘調査が赤前 牛子沢遺跡、白石遺跡、千鶏 遺跡などで行われました。大船渡市では、宮野貝塚で住宅建設に伴う発掘調査が行われ、土器埋設遺構等が検出されたほか、縄文時代晩期の遺物包含層から多くの遺物が出土しました。野田村の中平遺跡では、縄文時代前期の竪穴住居跡が複数検出され、縄文時代から集落が営まれていたことがわかりました。二戸市の在府小路遺跡では住宅建設に伴う発掘調査が行われ、縄文時代中・後期の遺物が出土したほか、同時期のも

のと思われる土坑などが検出されました。遠野市の栃内野崎遺跡では、住宅建設に伴う発掘調査が行われ、縄文時代後期の土器、石器の送り場跡が検出され、大量の土器、石器のほか、土偶などの土製品も多く出土しました。久慈市の北野X 遺跡で、久慈北道路築造に伴う発掘調査が行われ、陥し穴が数多く検出され、縄文時代の狩り場であることがわかりました。

### 古 代

盛岡市の町田遺跡で住宅建設に伴う発掘調査が行われ、平安時代の竪穴住居跡が3棟検出され、同じく上畑遺跡でも平安時代の竪穴住居跡2棟が検出されたことから、集落の拡がり確認されました。奥州市の杉の堂遺跡では、奈良時代の竪穴住居跡を含む4棟が検出されました。また、国指定史跡胆沢城跡では、内容確認調査が行われ、柱穴列跡、門跡が検出されたほか、南大路跡とその側溝跡が検出されました。外郭北西角付近では、西外郭外大溝と思われる溝跡が検出されました。矢巾町の国指定史跡徳丹城跡では、史跡整備のため内容確認調査が実施され、外郭外溝跡、外郭内溝跡、掘立柱檣建物跡等が確認されました。北上市の国指定史跡国見山廃寺では、内容確認調査が実施されました。同じく塚遺跡では、平安時代の竪穴住居跡等が検出されました。



清水遺跡（大船渡市）集団移転関連

中 近 世

平泉町の国特別史跡中尊寺境内では、史跡整備に向け、大池西高台の内容確認調査を実施しました。同じく、住宅建設に伴う発掘調査が祇園遺跡で実施され、12世紀の建物跡等が検出され、志羅山遺跡では、毛越寺門前から続く12世紀の東西大路の延長と思われる溝跡が検出されたほか、12世紀のかわらけ、国産陶器、中国産青磁・白磁等が出土しました。紫波町では、鎌倉街道跡、盛岡藩と八戸藩との藩境塚の内容確認調査が行われました。釜石市では、国指定史跡橋野高炉跡の整



堂の前貝塚 (陸前高田市) 個人住宅対応

備計画策定に資するため、三番高炉及び西側の平坦地において、内容確認調査が実施されました。  
岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課

市町村教育委員会が行った発掘調査

\*時代の略... 縄/縄文、弥/弥生、奈/奈良、平/平安、古/古代、中/中世、近/近世  
\*教 委... 教育委員会

NO.	遺 跡 名	所在地	調査主体	時代	種別
1	辻屋敷遺跡	盛岡市	盛岡市教委	奈・平	集落跡
2	細谷地遺跡	盛岡市	盛岡市教委	奈・平	集落跡
3	細谷地遺跡	盛岡市	盛岡市教委	奈・平	集落跡
4	矢盛遺跡	盛岡市	盛岡市教委	平・中・近	集落跡・城館跡
5	小日谷地 B遺跡	雫石町	雫石町教委	縄	集落跡
6	鎌倉街道跡、古道藩境塚	紫波町	紫波町教委	中・近	その他の遺跡 (道跡、藩境塚)
7	徳丹城跡	矢巾町	矢巾町教委	平	官衙跡
8	蒼前堂遺跡	花巻市	花巻市教委	縄・平	散布地
9	花巻城跡	花巻市	花巻市教委	中・近	城館跡
10	塚遺跡	北上市	北上市教委	平	集落跡
11	中大堰川遺跡	北上市	北上市教委	縄・平	散布地
12	白鳥館遺跡	奥州市	奥州市教委	平・中	城館跡
13	杉の堂遺跡	奥州市	奥州市教委	縄・弥・奈・平	集落跡
14	胆沢城跡	奥州市	奥州市教委	平	官衙跡
15	志羅山遺跡	平泉町	平泉町教委	平	屋敷地
16	祇園 遺跡	平泉町	平泉町教委	平	社寺跡
17	伽羅之御所跡	平泉町	平泉町教委	平	その他の遺跡 (居館跡)
18	坂下遺跡	平泉町	平泉町教委	平	社寺跡
19	小鳥館跡	平泉町	平泉町教委	縄・中	城館跡
20	白山社遺跡	平泉町	平泉町教委	平	社寺跡
21	宮野貝塚	大船渡市	大船渡市教委	縄・弥	貝塚
22	清水遺跡	大船渡市	大船渡市教委	縄	散布地
23	船造遺跡	大船渡市	大船渡市教委	縄	散布地・集落跡
24	鍛冶沢遺跡	大船渡市	大船渡市教委	平・中・近	城館跡
25	堂の前貝塚	陸前高田市	陸前高田市教委	縄	集落跡・貝塚
26	赤前 牛子沢遺跡	宮古市	宮古市教委	縄	散布地
27	古里 遺跡	宮古市	宮古市教委	縄	集落跡
28	刈屋清水野	宮古市	宮古市教委	縄	散布地
29	赤畑東遺跡	宮古市	宮古市教委	縄・中	散布地
30	大付遺跡	宮古市	宮古市教委	縄・弥	散布地・集落跡・貝塚
31	榎内 遺跡	宮古市	宮古市教委	縄	集落跡

NO.	遺 跡 名	所在地	調査主体	時代	種別
32	重茂館遺跡群	宮古市	宮古市教委	縄・中	集落跡
33	赤前 柳沢遺跡	宮古市	宮古市教委	縄・奈・平	散布地
34	白石遺跡	宮古市	宮古市教委	縄	集落跡
35	千鶏 遺跡	宮古市	宮古市教委	縄	集落跡
36	館石 遺跡	久慈市	久慈市教委	縄	散布地
37	北野 遺跡	久慈市	久慈市教委	縄	その他の遺跡 (陥し穴・土坑)
38	中平遺跡	野田村	野田村教委	その他(古)	集落跡
39	大平野遺跡	野田村	野田村教委	縄・古	その他の遺跡 (陥し穴・土坑)
40	新館遺跡	野田村	野田村教委	古・中・近	城館跡・集落跡
41	古館山遺跡	野田村	野田村教委	縄・その他(古)	集落跡
42	平内 遺跡	洋野町	洋野町教委	縄	散布地
43	栃内野崎遺跡	遠野市	遠野市教委	縄	散布地
44	袖の平遺跡	軽米町	軽米町教委	縄・平	散布地
45	外川目13遺跡	軽米町	軽米町教委	縄	散布地
46	深渡遺跡	軽米町	軽米町教委	奈・平	集落跡
47	在府小路遺跡	二戸市	二戸市教委	縄・中・近	散布地・城館跡
48	上里遺跡群(晴山遺跡)	二戸市	二戸市教委	縄・中	集落跡・城館跡
49	前小路遺跡	二戸市	二戸市教委	平	集落跡
50	大川原毛遺跡	二戸市	二戸市教委	縄	散布地
51	上里遺跡群(晴山遺跡)	二戸市	二戸市教委	縄・中	集落跡・城館跡

県教育委員会が支援した発掘調査

NO.	遺 跡 名	所在地	調査主体	時代	種別
25	堂の前貝塚	陸前高田市	陸前高田市教委	縄	集落跡・貝塚
37	北野 遺跡	久慈市	久慈市教委	縄	その他の遺跡 (陥し穴・土坑)
38	中平遺跡	野田村	野田村教委	その他(古)	集落跡
39	大平野遺跡	野田村	野田村教委	縄・古	その他の遺跡 (陥し穴・土坑)
40	新館遺跡	野田村	野田村教委	古・中・近	城館跡・集落跡
41	古館山遺跡	野田村	野田村教委	縄・その他(古)	集落跡

# 復興にむけ全力で調査

## 平成25年度(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターの調査

岩手県教育委員会の調整を受け、当センターが今年度受託した埋蔵文化財発掘調査事業は、34遺跡、対象面積が約21万㎡となっています(平成25年6月現在)。昨年度に比べ、面積が約2倍という状況です。34遺跡は県内の5市4町1村にまたがっています。東日本大震災の復興関連事業と関係する調査が多いことから、調査の大半は沿岸部の市町村に集中しています。

### 復興関連調査が急増

通常の開発事業の調査は、農地整備事業・県道改良事業・河川改修事業などがありますが、これらに関連した調査は全体の約10%程度となっています。

一方、全体の約90%を占める復興関連調査は、住宅移転に伴う土地造成事業と三陸国道、東北横断自動車道釜石秋田線建設事業に関連した調査です。

### 調査職員を大幅に増員

今年度は、復興関連事業の調査が急増することが見込まれたため、調査員を17名増員し44

名体制、12遺跡で4月よりスタートしました。

この中には公益財団法人大阪府文化財センター、公益財団法人北海道埋蔵文化財センターから派遣していただいた調査員が3名含まれています。

### 遺跡の中身は？

昨年度からの継続調査遺跡は千苅遺跡・伽羅の御所跡・漆町遺跡・野場遺跡・中野遺跡・花館跡(旧飯森場遺跡)です。これらの遺跡については既に調査が開始されており、千苅遺跡では平安時代、野場遺跡では縄文時代前期、中野遺跡では縄文時代中期後半の村の跡、伽羅の御所跡では幅3mほどの伽羅の御所に関連すると思われる溝の一部が発見されています。中世では、花館跡から堀跡、土塁などがみつかります。

今年度から新たに着手した遺跡では、峯岸遺跡で縄文時代前期の村の跡、津軽石大森遺跡で奈良時代の大規模な村の跡、田の浜館跡で古代の製鉄関連遺構が見つかります。



中野遺跡(大船渡市)で見つかった縄文時代中期の竪穴住居跡



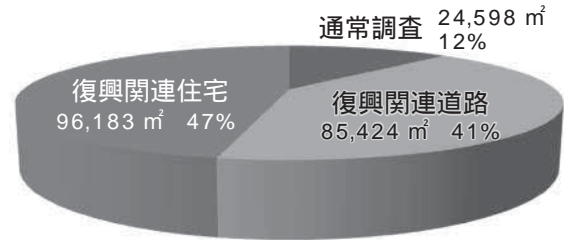
新たな地域史の資料に

復興関連事業の調査の急増でもわかるように、震災から三年目を迎えた今年は復興加速年と位置づけられています。調査により先人が残した多くの遺構や遺物などが見つかると思います。これらの資料は、これからの新たな地域史を紡いでいくなかで重要な資料になるものと確信しています。

公益財団法人岩手県文化振興事業団  
埋蔵文化財センター調査課

平成25年度の調査内訳

■ 通常調査 ■ 復興関連道路 ■ 復興関連住宅



NO.	遺跡名	所在地	面積(㎡)	時代等	原因
1	千菊遺跡	北上市	11,445	縄文・古代	河川改修
2	伽羅之御所跡	平泉町	280	古代・中世	県道改良
3	花立 遺跡	平泉町	2,175	古代・中世	県道改良
4	花立 遺跡	平泉町	795	古代・中世	県道改良
5	漆町遺跡	奥州市	3,199	古代	農地整備
6	小野遺跡	一関市	423	古代	農地整備
7	町裏 遺跡	一関市	3,672	古代	農地整備
8	町裏 遺跡	一関市	2,609	古代	農地整備
小 計 (通常調査)			24,598		
9	不動ノ滝	釜石市	874	縄文・弥生	復興関連 (釜石秋田横断道)
10	上長部館跡	陸前高田市	6,950	中世	復興関連 (三陸国道)
11	松磯遺跡	大槌町	3,000	縄文	
12	沢田 遺跡	山田町	6,000	縄文	
13	間木戸 遺跡	山田町	950	縄文	
14	間木戸 遺跡	山田町	1,100	縄文・古代	
15	石峠 遺跡	山田町	9,000	縄文・古代・中世	
16	津軽石大森遺跡	宮古市	3,200	縄文・古代	
17	金浜 遺跡	宮古市	1,600	古代	
18	乙部遺跡	宮古市	2,500	縄文	
19	小成 遺跡	岩泉町	1,900	縄文	
20	沼袋 遺跡	田野畑村	950	縄文	
21	可能性有	田野畑村	1,400	縄文	
22	鳥越	田野畑村	3,100	縄文	
23	沼袋 遺跡	田野畑村	1,800	縄文	
24	菅窪長屋構 遺跡	田野畑村	1,200	縄文	
25	菅窪長屋構 遺跡	田野畑村	2,900	縄文	
26	豊間根新田 遺跡	山田町	13,000	縄文	
27	伏津館跡	野田村	24,000	中世	
小 計 (復興関連・道路)			85,424		
28	野場 遺跡	田野畑村	6,251	縄文	復興関連 (住宅移転等)
29	中野遺跡	大船渡市	9,000	縄文	
30	峯岸遺跡	大船渡市	4,382	縄文	
31	赤前 遺跡	宮古市	16,000	縄文	
32	田の浜館跡	山田町	52,700	中世	
33	焼山遺跡	山田町	1,800	古代	
34	花館跡	陸前高田市	6,050	中世	
小 計 (復興関連・住宅移転)			96,183		
合 計			206,205		

# 全国から 復興調査を応援

支援職員が県教育委員会、埋蔵文化財センター、市町村に

震災からの復興のため、住宅地や復興道路の建設などで埋蔵文化財調査件数が大幅に増加しています。

岩手県教育委員会では、この状況に対応するため、昨年度から専門職員を大幅に増員するとともに、全国の都道府県教育委員会から専門職員の派遣を受け、分布調査、試掘調査、市町村の調査支援を行いました。

今年度は県教育委員会に8名（うち2年目となる職員5名）のほか、調査機関の岩手県文化振興事業団埋蔵文化センターにも、北海道、大阪から職員が派遣されて調査を行っています。また、沿岸市町村にも他県や県内市町村から14名の専門職員が派遣されており、調整や調査に従事しています。

今回は、県教育委員会、埋蔵文化財センターに派遣された11名の皆さんをご紹介します。

県教育委員会による遺跡の分布調査件数

..... 派遣元      ..... 専門      ..... ひとつこと

背景写真 / 山林の中での試掘調査

## 佐藤 剛 さとう つよし

埋文センター

(公財)北海道埋蔵文化財センター 主査 (勤続18年)  
考古学

4月に赴任してから分からないことだらけでしたが、約3か月が過ぎ、他の職員の方々に温かく手助けしていただきながら、ようやくこちらでの仕事に慣れてきたところです。出身が宮城県栗原市築館ですので、先の震災では家族も被災し、2週間から1か月ほどは連絡もままならない状態でした。

沿岸部ではまだまだ“復旧”が始まったばかりですので、これからも被災した方々の気持ちに寄り添った調査を行っていききたいと思います。

## 三好 孝一 みよし こういち

埋文センター

(公財)大阪府文化財センター 主査 (勤続28年)  
弥生時代

弥生文化博物館の2年間以外はずっと現場で発掘一辺倒の日々を過ごしてきました。年齢半百と一つを迎えましたが、年齢的にも体力的にも今しかないと思い、こちらに來させていただきました。最初は言葉などにも戸惑うこともありましたが、3か月が経った現在では、だいぶ慣れはじめました。現場の様子にも馴染めたので、今後、大阪で培った経験を生かし、少しでもお役にたてるよう努力しますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

## 廣瀬 時習 ひろせ ゆきしげ

埋文センター

(公財)大阪府文化財センター 副主査 (勤続17年)  
日本考古学 (弥生時代から古墳時代、玉・玉生産)

出身は茨城県で、大学から関西に過ごしてきました。大阪府文化財センターでは府内の発掘調査、大阪府立近つ飛鳥博物館学芸課などで業務をしてきました。毎日こちらの職員の方々に助けられて調査に従事しています。

被災地の1日も早い復興に少しでもお役にたてるよう、これまでの経験を活かして努力したいと思っています。



宗像 公司 むなかた こうじ

岩手県教育委員会

北海道教育庁 生涯学習推進局文化財・博物館課 主任 (勤続18年)  
考古学

北海道から派遣された宗像です。昨年度までは主に各種開発に伴う埋蔵文化財の分布調査や試掘調査を行ってまいりました。岩手県は自分が想像していた以上に自然が豊かで、その中に多くの遺跡が残っていることを現場に出て知りました。

被災地の復興が進んでいく中、未来の岩手県に文化財の記録を伝えられるよう、自分の力を出し切って調査業務にあたっていきたいと思っております。



斉藤 慶史 さいとう やすし

岩手県教育委員会

青森県教育庁 文化財保護課三内丸山遺跡保存活用推進室 文化財保護主査 (勤続10年)  
考古学 (特に動物遺存体)

千葉県出身です。小学5年生の時に貝塚で土器を拾うことを覚え、フィールドを変えつつ現在に至ります。大学時代には三陸沿岸部の縄文貝塚を研究テーマに選び、就職浪人期も含めて沿岸市町村の埋蔵文化財担当職員の方々には大変お世話になりました。自分を育ててくれた大切な地域に少しでも恩返しができるよう、力を尽くしたいと思います。



宇田川浩一 うだがわ こういち

岩手県教育委員会

秋田県教育庁 生涯学習課文化財保護室 文化財主査 (勤続15年)  
考古学

岩手県でお世話になって2年目になりました。皆様にとっても親切にしてもらい、楽しく仕事をしております。

この5月には、宮古市木戸井内 遺跡の発掘を行い、奈良時代の竪穴住居跡を1棟掘りました。カマド煙道の天井がしっかりと残っており、トンネルになっていて驚きました。秋田の煙道は、短い上に残りが悪いので、教科書のようなカマドを掘ったのは初めてです。

幸先の良いスタートとなり嬉しいです。



安井 健一 やすい けんいち

岩手県教育委員会

千葉県教育庁 教育振興部文化財課 主任上席文化財主事 (勤続24年)  
縄文時代 (関東地方後・晩期土器、集落、土偶など)

昨年4月、右も左もわからぬまま着任して早々に大雪に見舞われ、希望して来たとは言えかなり心細かったことが思い出されます。以来1年間、私だけでなく派遣職員全員が山あり谷ありだったと思いますが、岩手の方々の温かい心配りによって乗り切ることができたと思います。あと1年、やはり山あり谷ありだとは思いますが、皆様の期待に沿えるよう引き続き努力するとともに、岩手の魅力を地元千葉だけでなく全国に発信できればと思っています。




武田 寛生 たけだ のりお

岩手県教育委員会

静岡県教育委員会 文化財保護課 主査 (勤続15年)  
考古学 (古代瓦・寺院)

静岡県から参りました武田です。昨年度まで主に新東名高速道路建設関連の発掘調査 (現地8年・整理7年) に従事していました。南海トラフ巨大地震への懸念から、静岡県では現在官民が一体となって、災害から貴重な文化財を守るための体制整備が進められています。

被災地での文化財保護について学ばせていただくとともに、微力ながら岩手県の復興に力を尽くしたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。



**北原 治** きたはら おさむ


岩手県教育委員会

滋賀県教育委員会事務局 文化財保護課 副主幹（勤続20年）  
考古学・埋蔵文化財保護行政

滋賀県から派遣されて、早くも1年数カ月が経ち、すっかり岩手に馴染んでおります。休日には、山登りや温泉など、自然いっぱいの岩手を満喫しています。

派遣当初はどうなることかと心配した冬場の調査を経験し、カチカチに凍結した表土をツルハシで叩き割って実施する試掘調査も氷結道路の運転も今ではすっかり慣れました。

今年は気負わず、日々、岩手の復興に向けて、埋蔵文化財調査に邁進したいと思っております。



**横田 明** よこた あきら


岩手県教育委員会

大阪府教育委員会事務局 文化財保護課 主査（勤続24年）  
考古学

岩手県に支援に来て1年が経過しました。昨年度は手探り状況ながらも全国から集結した有意の方々との交流を深めることができ、大変ながらも楽しく仕事させていただきました。今年はいよいよ復興が軌道に乗る年であり、業務も多忙になるものと思われまます。

支援職員や地元の方々ともさらに交流を深め、東北の歴史や文化を学ぶとともに、限られた派遣期間をより有意義に過ごしたいと思っています。

今後ともよろしくお願ひします。



**平 美典** ひら よしのり

岩手県教育委員会

鹿児島県立埋蔵文化財センター 文化財主事（勤続10年）  
日本考古学（弥生時代）

不安を抱えながらスタートした派遣生活でしたが、岩手の皆さんの温かいサポートのお陰で無事に一年間過ごすことができました。すばらしい歴史や自然・おいしい食、温かい人情など、東北の魅力に魅了された一年でした。一方で埋蔵文化財行政の存在意義・世の中に果たす役割など、本質的な部分について改めて考えさせられた一年でもありました。

一年間の経験を生かし、復興と調査の両立のために少しでも役立てるよう頑張ります。

**人事動向** （平成25年4月1日付）

**岩手県立埋蔵文化財センター**

- 転入**  
文化財調査員 / 栗谷 昭博 陸前高田市立広田中学校
- 転出**  
岩手県立博物館 / 鎌田 勉 上席文化財専門員

**(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター**

- 転入**  
副所長 / 中村 英俊 岩手県立図書館  
首席文化財専門員兼調査課長 / 斎藤 邦雄 岩手県立博物館  
主査 / 吉田 秀幸 岩手県立博物館  
文化財専門員 / 佐藤 淳一 岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課  
文化財調査員 / 久保 賢治 岩手県立水沢高等学校

- 新採用**  
文化財調査員 / 小林 弘卓

- 転出**  
事業団総務部 / 久保田幸恵 主任  
岩手県立博物館 / 丸山 浩治 文化財専門員

- 退職**  
佐々木清文 / 首席文化財専門員兼調査課長

**年間行事予定 一般向け**

**第34回埋蔵文化財展**

1. 期 日 / 平成25年11月14日～17日
2. 場 所 / 紫波町情報交流館

**埋蔵文化財公開講座**

1. 期 日 / 平成26年2月15日(土)
2. 場 所 / 岩手県民会館中ホール

詳細が決まり次第ホームページでお知らせします

発行 岩手県立埋蔵文化財センター  
編集 (公財)岩手県文化振興事業団  
埋蔵文化財センター  
〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11-185  
電話 019-638-9001  
E-mail [i-maibun@echna.ne.jp](mailto:i-maibun@echna.ne.jp)  
URL <http://www.echna.ne.jp/imaibun/>  
発行日 平成25年6月28日  
印刷 河北印刷株式会社